



発行：知立市観光協会 発行年月日：平成 28 年 5 月
 〒472-8666 愛知県知立市広見三丁目 1 番地
 T E L : 0566-83-1111 (知立市役所内)
<http://www.chiryu-kanko.com>



知立市マスコットキャラクター
「ちりゅっぴ」

巡る 池鯉鮒

ち り ゆ う

知立市観光ガイドブック

CHIRYU City Guide Book

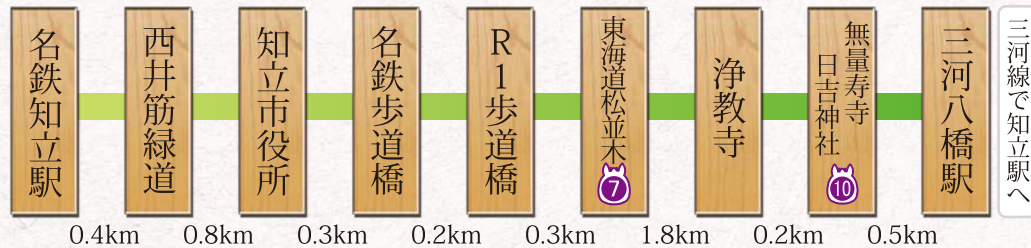


愛知県知立市

歴史・文化を感じながらの散歩道

～おすすめの散策コース～

明治用水緑道コース ～気持ちの良い緑道に沿っての歴史散策 4.5 km～



知立市役所



東海道松並木



淨教寺



知立市マスコットキャラクター



お誕生日：12月1日

性別：男の子

好きな食べ物：あんまき

語尾：動詞 + っぴ
だっぴ

ちりゅっぴのいろいろがつまったお部屋

ちりゅっぴの部屋

<http://www.city.chiryu.aichi.jp/shisei/about/chiryuppi/>

LINEスタンプ かわいいちりゅっぴがいっぱい！



ありがとう

う
ふ
ふ
ふ

ちりゅっぴ情報が盛りだくさん！



80種のどれもかわいいスタンプ！

かわいい写真やちりゅっぴのつぶやき



【くわしくは】 知立市観光協会事務局（知立市役所内 ☎0566-83-1111）
〒472-8666 愛知県知立市広見 3 丁目 1 番地 市役所 2 階 8 番窓口

巡る 池鯉鮒

歴史を辿る、知立市の観光スポット



寺・寺院

神社

城跡

レンタサイクル

交差点

記念碑や史跡

公園

資料館

文化・体育施設

学校



① 知立公園

② 知立神社

③ 知立古城跡

④ 遍照院

⑤ 萬福寺

⑥ 新地公園

⑦ 東海道松並木

⑧ 知立馬市跡

⑨ 来迎寺一里塚

⑩ 無量寿寺

⑪ 八橋かきつばた園

⑫ 根上りの松

⑬ かきつ姫公園

次のページに
詳細内容を掲載
してるっぴ♪



知立市役所まで:お車で ●伊勢湾岸自動車道豊田南 I C より約 15 分

●伊勢湾岸自動車道豊田 I C より約 15 分

●名古屋より国道 23 号線又は国道 1 号線にて約 40 分

知立駅まで:電車で ●名鉄名古屋駅より特急で約 20 分

●名鉄豊橋駅より特急で約 30 分



① 知立公園 (花しょうぶまつり)



知立神社境内の東西に位置し、毎年5～6月には、「知立公園花しょうぶまつり」が開催される。まつり期間中は、昭和 30 年代に明治神宮から贈られたといわれる約 60 品種の色とりどりの花しょうぶが、訪れる人々の目を楽しませている。

② 知立神社



江戸時代、東海道三社の一つとして崇められた名社。三河国二宮。日本武尊が東征のおり、当地に皇祖神をお祀りしたといわれている。境内にある多宝塔は、国指定重要文化財。本殿ほか6つの建造物は、国の登録有形文化財建造物となっている。

② 知立神社 (知立まつり)



毎年5月2日・3日には、「知立まつり」が行われる。まつりは1年おきに本祭と間祭が行われ、本祭には5台の山車が町中を巡行した後、知立神社境内に一齐に宮入りする。山車の上では、国指定重要無形民俗文化財でありユネスコ無形文化遺産候補でもある「山車文楽とからくり」が上演される。間祭には5台の勇壮華麗な花車が繰り出される。

② 知立神社 (秋葉まつり)



毎年秋分の日に近い日曜日には、「秋葉まつり」が行われる。6町の若衆が玉箱をかつぎ長持唄をうたいながら威勢よく町中を練り歩く。日が落ちてからは、神社の境内で勇壮な手筒花火が奉納される。

③ 知立古城跡



知立神社の神官永見氏の居城であった知立城は、桶狭間合戦後、織田軍により落城。その後、刈谷城主水野忠重が御屋敷を建て信長を迎えたといわれる。江戸初期は将軍上洛用の旅舎とされたが元禄期の地震で倒壊。その後、再建されなかった。

④ 遍照院



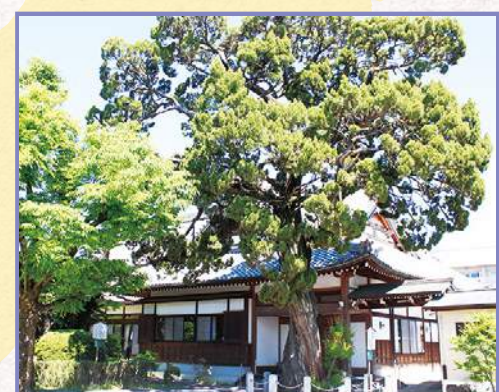
「弘法さん」の名で親しまれている。ご本尊は「見返弘法大師」。今から約1,200年前、弘法大師空海上人が知立に立ち寄られた際に御自身で御坐像を刻み開眼供養、安置されたといわれる。822年、上重原町家下に創建されたが、兵火により焼失、1673年現在地に再建された。

④ 遍照院 (三河三弘法)



弘法大師の命日 (毎月旧暦 21 日)には、弘法通り参道や境内に露店が立ち並び、多くの参拝客で賑わう。三河三弘法と呼ばれ、遍照院が第1番札所、刈谷市一ツ木町にある西福寺が第2番札所、同じく一里山町にある密蔵院が第3番札所である。

⑤ 萬福寺 (イブキ)



萬福寺にあるイブキはヒノキ科の常緑針葉高木で、県指定天然記念物である。樹高 15m、根回り 2.8mの西三河最大のものである。樹齢は推定 500 年以上といわれている。



6

新地公園



新地公園は平成2年に「健康で安全な住みよいまち」づくりを目指して「水と緑とふれあい」をテーマに市制20年を記念してつくられた。冬期には市民と協働してイルミネーションが行われ、大いに盛り上がる。

7

東海道松並木



知立は江戸時代、品川から数えて39番目の宿場町に指定された。松並木は街道の旅人に風情を添え、夏は緑陰の憩い、冬は寒風と風雪を防ぐ役割を果たしていた。今も500mにわたり約170本の松並木が残し、往時の東海道の姿をとどめている。

8

知立馬市跡



歌川広重の「首夏馬市」で知られる池鯉鮒の馬市は、もとは八橋の鎌倉街道に近い野原で開かれ、その後新しい東海道沿いに移動したとされる。「東海道名所図会」には、杭につながれた馬や、談合松の下で商談する人々が描かれ、馬数は400～500頭と記されているが、昭和18年(1943)頃を最後に馬市の歴史を閉じる。

9

来迎寺一里塚



慶長9年(1604)に徳川家康が江戸日本橋を起点にして築かせた、一里(約4km)ごとの道標。塚の大きさは約9m四方、高さ約4mに土を盛り上げ、道の両側に作られている。両方塚が残されているのは非常に珍しい。

10

無量寿寺



名勝八橋の中心となる在原業平ゆかりの寺で、弘仁12年(821)密円法師により開山され、その後、方巖売茶翁により再建された。境内には八橋史跡保存館があり、八橋かきつばたの歴史と在原業平や方巖売茶に関わる文化財が多数保存されている。

11

八橋かきつばた園 (かきつばたまつり)



伊勢物語の昔から広く知られるかきつばたの名勝地。毎年4～5月に史跡八橋かきつばたまつりが行われる。敷地13,000㎡の庭園内の16の池に約3万本のかきつばたが咲きそろふ5月初旬が見頃で、多くの人々を魅了する。

12

根上りの松



根が2メートルほど持ち上がっていることから名付けられ、鎌倉街道の傍らに往時の賑わいを偲ぶように立っている。松の根元に「鎌倉街道之跡」の碑があり、碑陰には、阿仏尼の「十六夜日記」の一節が刻まれている。「五十三次名所図会」などの浮世絵にも登場する。

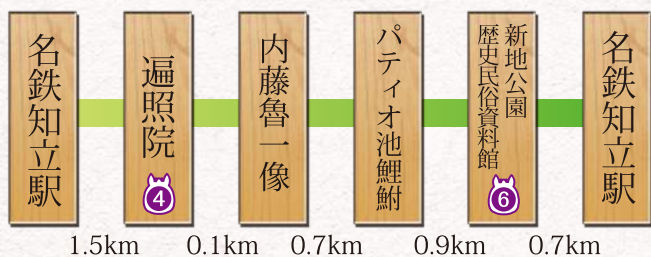
13

かきつ姫公園 (落田中の一松)



平安の頃、この近くには松があり、かきつばたが咲き乱れていた。在原業平がかきつばたの5文字を句頭に入れて唐衣の歌を詠んだ所と伝えられる。現在はかきつ姫公園の中に何代目かの若松が植えられている。

歴史散策コース① ～弘法道として親しまれる 3.9 km～



知立市歴史民俗資料館では
色々な知立の歴史が紹介されています。
隣に図書館も隣接しているので
知立の歴史を掘り下げて知りたい方には
オススメのコースです。
知立市歴史民俗資料館：入場無料



遍照院



パティオ池鯉鮒



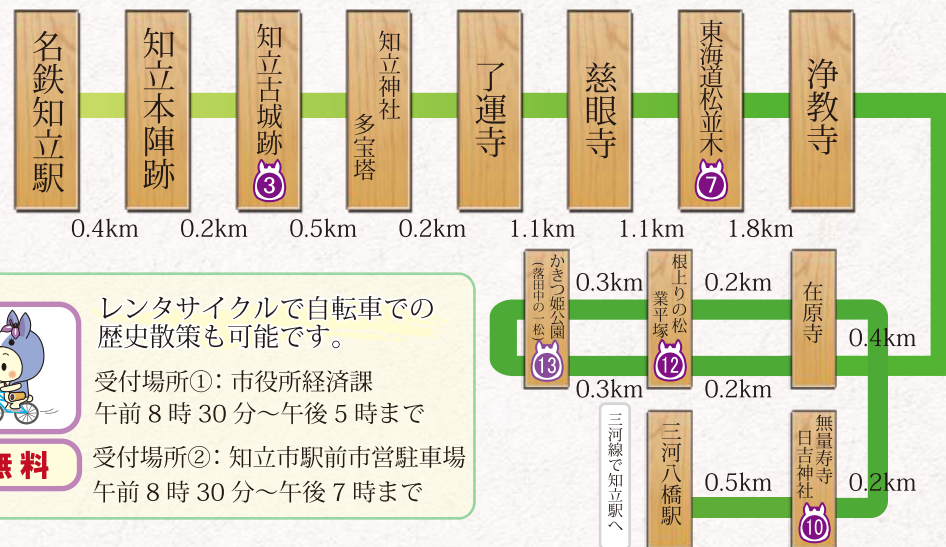
歴史民俗資料館

短い距離で歴史と文化を感じ取ることができるコースです。



知立市役所ではレンタサイクルのサービスもあります（詳しくは次のページ）

歴史散策コース② ～東海道と明治用水緑道を歩く 7.4 km～



レンタサイクルで自転車での
歴史散策も可能です。

受付場所①：市役所経済課
午前 8 時 30 分～午後 5 時まで

受付場所②：知立市駅前市営駐車場
午前 8 時 30 分～午後 7 時まで



無料



知立神社多宝塔



了運寺



業平塚

